

Title	コンピュータ・ソフトウェアの管理会計に関する一考察
Sub Title	
Author	山内進(Yamauchi, Susumu) 高橋吉之助
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1985
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1985年度経営学 第443号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001985-0443">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001985-0443</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

No. 0443

学生氏名 山内 進

主査 高橋 吉之介

副査 柴田 典男

所属ゼミナール 高橋 吉之助 研

矢作 恒雄

## コンピュータ・ソフトウェアの管理会計に関する一考察

本研究は、コンピュータ・ソフトウェア開発プロジェクトの開発、計画、製造、販売における会計情報とは何かを目的とする。

そこでまず、ソフトウェアの定義及び分類を研究し、本研究ターゲットを明らかにする。なぜならば、コンピュータ・ソフトウェアの定義、分類内容により、コンピュータ・ソフトウェア開発プロジェクトの投資の効果を見るとき、投資と収益との対応関係の範囲が決定するからである。

次に、コンピュータ・ソフトウェアに関する現行の会計基準の処理やその論拠をあげ、それらの会計基準や各種論文から、ソフトウェアコストの資産性、費用性の論点を整理し、コンピュータ・ソフトウェアの管理会計情報を考察する参考資料とする。

コンピュータ・ソフトウェアの開発プロジェクトの会計情報を研究するにあたってソフトウェアの管理会計上の問題は始まったばかりで、未解決な部分が多いため、まずコンピュータ・メーカーの管理会計の事例を検討した。そこで、アプリケーションソフトとBASICソフトの開発の管理会計上の処理の違いを明確にする。その上で、アプリケーションソフト、BASICソフトの開発における会計情報を考えていく。その際、混乱を避けるために、ロバート・アンソニーの分類による。マネジメント・コントロール、オペレーション・コントロールの各段階は区別し、研究を進めた。

本研究の結論として、投資の効果を見るとき投資増分累計終価と、収益増分累計終価とを比較して測定すること。その他、各論的に意見を述べ、本研究を終える。